

## CS1-3 製薬企業における薬学部人材の採用と活用

○野々瀬 恭平<sup>1</sup>

<sup>1</sup>第一三共

製薬企業の使命は、優秀、良質な医薬品等を研究開発し、製造し、販売普及して人々の健康に貢献することである。これらの企業活動の中で、薬学部人材の活躍する分野は多岐に亘っており、その人材ニーズは高く、これからもニーズの高さは変わらないと考える。製薬企業各社はおしなべて、研究職、開発職、MR職を中心に多くの薬学部人材を活用しており、その要員構成のウエイトは高く、また採用においても継続して重点対象としている。

今般の薬学部の新制度への移行にともない、製薬企業がこれまで実施してきた薬学部人材の採用と活用のあり方が今後どのように変わるのか、またどのように変えていくのか、企業の人材戦略の観点からの検討が必要となる。薬学部人材に対する製薬企業のニーズの高さは基本的に変わらないものの、6年制と4年制それぞれの学部に対する人材要件のマッチングについて、また職種別の人材活用の考え方、あるいは採用選考や条件についてなど、今後の採用政策の面、あるいは人材育成政策の面からどう対応していくのか、企業としての考え方の一端を紹介させていただく。また、企業が入社時において求める人材特性には何があるかということを示し、あわせて新しい制度における薬学部人材への期待について述べさせていただく。